
～今日も狩り狩り 明日も狩り狩り～ 3rdまったりプレイ

絶影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「今日も狩り狩り」 明日も狩り狩り」 3rdまったりプレイ

【Nコード】

N4783P

【作者名】

絶影

【あらすじ】

狩りの記録的なもの

主にまったり更新

まったり狩り狩り

やーやーやー

3rdが出て結構たちましたね(´・`・´)

いつもはROM専ですが

今回は初めて

プレイ日記を書いてみよう

思い立った次第ですw

書くことはソロか友達とのプレイ日記

アドパは無線ないので出来ませんorz

後、更新は亀だと思ってください

書くのが初めてなので

飽きてしまったり、忘れて放置する可能性が高いですw

更新が停滞したら感想を書くなりして

呼び戻して下さいw

他の小説読みに来て気付くと思いますので(´・`・´)／

では、次ページより

(´・`・´) 始まります↑

まったり狩り狩り（後書き）

小説書くのは初めてなので

ブログ感覚で書きますが、ご容赦を

まあ、単なる記録だから

ブログでやれと言われれば

それまでですがw

アオアシヲ弱すw(前書き)

やべえ

何だろう、こんなのでいいのかな…

アオアシラ弱すw

どーも

絶影です

今作は非常にムービーに感動しました。

ちょっと感涙がこぼれそうになったのは
内緒です
↑

さて、ムービーに出てくる
熊のプー。んですが

なにこれ怖え(。D ;)
ムービーに出てくるって事は…
ティガ並の強さか…

と、勝手に想像してたんですが

初めてみて吃驚

集会所の 1にあるじゃん！

これは行ってみよう(*´、´)
と、2nd G時代によく使って
慣れてる(と思われる)双剣を担いで
いざ、出発！

五分後

くクエストが完了しましたく

.....

(; A) ナン

(; A) 。 デス

(; A) 。 トーッ!!

早くね？流石に早すぎね？

初期装備だぜ？

ボーンシックルに劣る双剣でこれかよ...

なんだか残念な出来上がりなのではと
非常に心配になりました

まあ、前作以上であると期待して
テストがあるので
その日は、それだけで終了する事にしました。

アオアシラ弱すw(後書き)

ちなみにアイルーはナルがでした

(* ' ') こざかしいとか要らんww
↑

村クエで狩り狩り（前書き）

なぜ、こんなに弱い

村クエで狩り狩り

はい

絶影ですよー↑

テスト期間中は

確かあれ以後してなかったの

先週の金曜日の事をば（´、`）ノ

まあ、村クエに行つてたわけ

まず思つたのは

非常にクエスト数が少ない

え？こんだけ？つていう

前作は村スルーしたので
知らないんですけどねw

まずは、ジャギイ

……ジャギイとは何ぞや？

筆者はジャギイなるものを
知らないのですが
他のクエストを見ていき

ああ、ランポスの代わりね
と気付いたんです↑

とりあえず

ジャギイを狩り狩り

五頭だけなので

探す以外には

ほぼ時間かからずw

その後も軽くこなしてゆくと

恐怖の予兆

ロイヤルハニーの納品なるクエストが

これは…ティガが序盤で出たのと同じノリか！

と身構えて行きましたよ

案の定でて来ました

つい先ほどフルボッコして

素材に変わったプ。さんがねw

動きが非常に単調なので殺りやすい

突進後後ろから乱舞

ラリアット後後ろから乱舞

とりあえず隙がでかい

ティガとは違いますね（・・・）

当のティガは村で出てきてませんw

上位の存在になるとは…

あの動き嫌いなものになー…

さて、話を戻して

ちゃちゃっとプーさ○を殺つたので
あっさりクリアで戻ってきたら…

緊急クエストが！

ふむ…青熊獣アオアシラか…

………（・・・）え？

さっき殺りましたよ？w

………

ま、まあ

緊急だし、強いのかな…

道具はちゃんとして行こう

クエスト出発五分後

くクエストが完了しましたく

アオアシラはドスラン以下ですね、はいw

流石プー。んw

実力が、「ぷー」です↑

洒落ではない、いやマジでw

村クエで狩り狩り（後書き）

次は友達と筆者のプレイ歴など
あくまで予定です
↑

紹介といこーか(前書き)

だいたいこんな感じw

紹介といこーか

まずは筆者から

使用武器：双剣かヘヴィ

2nd時代からやっている自称中級者

実力は道具で補えばいいと思ってます。

狩り友@その1

ナイルさん

使用武器：スラッシュアックス

3rdから始めた

というか、PSPと一緒に買ったので

唯一のPSP用ゲーム

実力が伴わない

前線に立ちたがる

スラッシュアックスで、よく周りを弾き飛ばします

あだ名は松潤

いじられキャラ

狩り友@その2

りよーた

使用武器：片手剣

2nd時代からやっているらしい…

最近ベリオロス狩りにはまっている

ナイルさんへの突っ込み役

狩り友@その3

よっしー

使用武器：ランス

生粋のランサーを自負しているらしいが
実はランスが苦手らしい

背後から突然突っ込んでくるので
乱戦では嫌われる

口癖は「Σあ…」

狩り友@その4

あおき

使用武器：大剣

よくゲームを改造しているが
全てを妹のせいだと言い張り
改造している事実を認めないので
あまりよろしい人ではない

湯水の如くアイテムを使う
支給品を全て取って離脱はザラにある

しかし、単純に上手い

紹介といこーか（後書き）

よっしーは挙動不審

またお前か（前書き）

書き方変えてみた

またお前か

今日は部活前にキークエーっ消化してきました

紅煌流星

こんな感じに漢字並べるハンネの人いるけど
あれ何なの？漢字読めますよアピールですか？
そーなんですか？そーですか（・ω・）

さてさて、今回の敵は
ナルガクルガです

今まで片手剣と太刀以外で討伐した事がない

筆者ですが

しかし

今回は双剣で挑みました
ギギネブラのあれです
毒にするの大好き（*´、*´）

今回はナイルさんと
りょーたの3人で行って参りました

いざ、戦場に罷り通る！

くクエストを開始しますく

双剣、片手剣、スラッシュアックスの3人

支給される砥石は2つに分けられているのは
周知の事実であるので…

早い者勝ちですね（・ω・）

結果は一つ取りましたw

もう一つはナイルさんw

ドンマイりょーた（´・`）b

だがしかし
はうえばー！

携帯砥石に気をとられていたら

応急薬が無い

（「・`・`）これは酷い

まさか、ナイルさんが3つも取っているとは…

行動が早すぎて泣けてくる（「・`・`）

さて、そろそろ地の文だけの進行はキツイので
会話を再現（´・`・`）

ナイルさん↓ナ

りよーた↓り

筆者↓筆

と、なります（ 、 ） /

筆「なあ、応急薬何個持ってるー？」

り「俺3つー」

ナ「9個あるでー」

筆「お前かああああ！w返せw俺の応急薬っ」

り「ちょ、ナイル早いつて！もう見つかったるやん！」

ナ「え、嘘っ！」

筆「俺行くまで死ぬなw」

ナ「努力する」

見れば早速半分無いナイルの体力
これは酷い、そして早い

り「どうせ死ぬやろ。はよ来て」

筆「救いの神、到着」

り「おお！ナイル回復してこい！」

ナイルさん一旦横エリアへ移動

筆「やっぱり固いなー」

り「そりや翼やもんwあ、キレたー」

筆「k t k r」

ひたすらフルボッコする2人

り「あ、逃げたぞ」

筆「右上右上」

エリア移動

り「部位破壊したー？」

筆「どこも破壊してへんはず。てかナイルはどこ行った！」

り「ナイルおらんw w w」

ナ「ハチミツとつてるー」

筆、り「「なぜいまw」」

り「あ、ナイルんとこ行ったでー」

ナ「まじか」

筆「死ななかつたら助けてやる。まず、研がせろ」

ナ「死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ！」

リ「応急薬は？w」

ナ「使いきった」

筆「1乙しとけwその後の参戦は認めんw」

ナ「それは嫌やー」

リ「なら死ぬなw到着ー」

筆「同じく」

ナ「おっしゃー、回復薬使っわ」

リ「あつたんかいw」

筆「とりあえずやるぞー、そろそろ死ぬやろおええ？」

いきなり吹っ飛ぶ我が分身

しかしノーダメ

つまり

筆「ナイルww飛ばすなw」

ナ「ごめーん、ミスった」

リ「まー、ええやんwって飛ばすなや！w」

言ってる側から吹っ飛ばす

それがナイル

筆「毘しかけるぞー」

リ「ういうい」

ナ「んー」

筆「かかったら顔潰すなー？」

ナ、リ「任した」

リ「かかったー！」

筆「乱舞しまー…ってうおい！飛ばすなや！w」

恐怖の人間大砲再び

リ「まー、ノーダメやから良くない？」

筆「良くないw」

ナ「あ、捕獲する？」

り「罨あるならするー」

ナ「俺あるわー」

筆「（、旦那）」

り「かかったー」

筆「麻醉玉投げまー」

くクエストが完了しましたく

筆、り、ナ「おつ」

筆「ナイル飛ばしすぎなw」

り「片手使えってw死なんかった事は奇跡やw」

ナ「俺はスラッシュアックス極めんねん！」

勝手にどうぞ、と言いたい↑

（「、旦那」死なれるのは困ります

またお前か（後書き）

凄い書きづらいw

筆者視点で書くか、会話を書くか

どちらがいいか多数決とりたいです（「、ん、」）

そんなに読んでる人いるか分かりませんがw

メッセでも感想でもいいです

こんな書き方がいい

など、あればご教授ください！

いざ行かん（前書き）

今日の話ではありませんw

いざ行かん

双剣の敵ボルボロス

ウラガンキンの方がキツイと言っちゃ駄目です

まだ、ウラガンキンはやったことない↑

とりあえず、最近は三時間授業なので
放課後にやった記録です（、、、）ノ

今回は

ナイルさん（以下ナ

りょー）た（以下り

よっしー）（以下よ

との4人でお送りいたします（、、、）b

よ「キークエ手伝ってー」

の一言で始まった今日の狩り

ナ「行こ行こー」

筆「んじゃ張るからこいよー」

全「あいー」

「待つこと数分」

り「よっしー遅くないか？w」

未だ来ないよっしーw

本人は真剣に画面を見てるが
なにしてるか不明

筆「はよ来な行くでー」

よ「Σあ、待って！行く行く」

きよどるよっしー

何回首を振るんだい？（「」）

ナ「え、早w」

よっしー、集会浴場きて
風呂にも入らずクエストをとり
準備完了

流石に早すぎる

筆「んじゃ行くぞー」

り「よっしー風呂は？」

よ「あっ……」

.....

くクエストを開始しますく

筆「まあ、死ぬな」

リ「ランスやから死なんやろー」

よ「いや、ランスなんか使いづらい…」

筆「…は？w」

開始早々不安にかられる

筆者とりよーた

とはいえ止まってられんので

筆「出来るだけ死ぬなw」

ナ「あ、おつたでー」

1人突っ走っていたらしいナイル

彼は自分が乙ることなぞ

微塵も考えていない

リ「行くまで死ぬなw頼むから退けw」

ナ「嫌や、やりたい！」

筆「上手くなってから言え」

冷たいようだが

このクエストを受注したのは俺

契約金は取られたくない

なんとしても3乙は阻止せねば！

筆「隣のエリアおるから待って…え？w」

行きなり前に飛ばされる我が分身

しかし、飛ばし屋こと乱戦に不適應な狩人ナイルさんは

只今ボルボロスと交戦中

りょーたは片手剣だし、第一目の前を走っていた

つまり…

よ「あつ…」

筆「お前かああああw」

初代は、まだ存命なのに

二代目が飛ばし屋を襲名しましたね

さて…厄介だw

とりあえず到着

り「ナイルー筆者着いたから一旦任せ…」

「ナイルが死にました」

筆、り「おいしいw」

ナ「あれ？」

り「このタイミングで何で死ぬんw」

筆「不幸を運んで来ました」

り「黒猫っぽいけど何か違う！w」

筆「まあ、暫くは任せておけ」

よ「わかったー」

ボルボロスの足元を斬りつけていると…

筆「Σうおっ…？ナイル…w」

空を舞う我が分身

ナ「ごめんw」

り「謝ってないw」

筆「もういいやw乱戦上等じゃコラー！」

4人が一気に斬りかかり…

よっしーに突き飛ばされ

ナイルに飛ばされ…

くりょーたが死にましたく

筆「乙」

り「まあ…しゃーない」

その間黙々とやり続ける2人

筆「何故お互いを飛ばさないのかが不思議だ」

り「ほんまそれ」

よ「あ、移動したー」

筆「研いだから移動しよかー」

ナ「はいよー」

よ「まだ行けるから行つとくわ」

1人行くよっしー

これは死亡フラグ

筆「よっしーを死なすな！」

ナ「おー！」

筆「お前に言ったんちゃう！」

当然ナイルも守られる側である

り「はいはい　あ、泥とれたでー」

筆「今行く！」

ナ「留めは俺だあ！」

筆「死ななかつたらな」

ナ「…」

黙々と狩る4人

4人で狩ってるから乱戦な訳で…

まあ…飛ばされる訳で…

くクエストに失敗しましたく

3乙でした

ちなみに3乙目はナイル

やってくれましたよw

「俺に任せろ！」

と言って飛び出して

味方を蹴散らした後

「死ぬー！」

一回死んで…あ、死んだら失敗やん…

筆「逃げるw」

アドバイスも虚しく

斬りかかって死にはりました

なんか凄くムシクシャしたので

その後、アオアシラを私刑に処したのですたw

ナイルは早く上手くなって欲しい

切実に

あ、よっしー？

死ななかつたけど

突進うざかったなw

いざ行かん（後書き）

書き方は色々変えていくつもりです

読みやすいのであれば

言ってください（「」）b

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4783p/>

～ 今日も狩り狩り 明日も狩り狩り ～ 3rdまったりプレイ

2010年12月25日21時55分発行